

「私のロールモデルを見つけよう！」事業【佐賀市】

地域の実情と課題

佐賀市の企業の99.6%が中小企業、そのうちの82.6%が小規模企業であり、女性が職場でロールモデルを見つけにくい状況である。

佐賀県の管理的職業従事者における女性の割合は14.2%と全国平均を下回っており、男性中心型の労働環境が根強く残っている。

事業の特徴

女性が企業や職種の枠を超えて交流したり、ネットワークを構築したり、ロールモデルと出会ったりする機会を創るための交流会を3回開催。各回とも、ゲストを招聘し、トークセッションを実施。その後、参加者同士の対話により、ゲストや参加者同士の多様な考え方や生き方、働き方についてインプット・アウトプットを行うことで、自身のロールモデルを見出すヒントを見つける。また、自分がやりたいことをワークシートに記入することで、参加者自身にとってのロールモデルを体現するための行動に繋がった。

事業の効果

交流会参加者へのアンケートでは、「本日の交流会 参加は、ご自身のこれからのキャリア形成(デザイン)に、役に立つものでしたか(役に立ちそうですか)」の質問に対し、「役に立った(役に立ちそう)」、「まあまあ役に立った(まあまあ役に立ちそう)」との回答が77件(回答数82件)と、交流会参加者にとって有用感のある事業となった。

交流会に参加できなかった女性にもキャリアデザインのヒントにもらうために、内容をまとめた冊子を作成し広く配布した。

目的・目標

企業の枠を超えて交流したり、ネットワークを構築したりできる場を提供し、女性が自分にとってのロールモデルと出会う機会を創ることを目的に開催した。

参加者数の目標200名に対し、156名の参加者を得た。

連携団体

女性の活躍推進佐賀県会議、佐賀県(佐賀県立男女共同参画センター)、佐賀市男女共同参画推進協賛事業所、子育て支援センター、佐賀市PTA協議会

今後の課題

今年度の事業は女性のみが参加できる事業としたが、女性がキャリア形成を図るためには、その重要性を男性も認識する必要があるため、次年度以降は男性も参加対象とする事業としたい。

事業の概要

- 働き方や生き方のロールモデルを見つけるための「女性のための交流会」を3回開催した。

- 1回目

テーマ:シン時代！ 多様な働き方のロールモデル
ゲスト:メタバースディレクター、アスパラ農家・動画配信者、新聞記者
おすすめの対象者:学生、若年層の女性

- 2回目

テーマ:想いをカタチに！ 自分の好きを活かしたロールモデル
スペシャルゲスト:フリーランス協会代表理事 平田麻莉さん
ゲスト:動画クリエイター、落語パフォーマー、キャンピングインストラクター
おすすめの対象者:主婦・フリーランスの女性

- 3回目

テーマ:Well-beingライフ！ ウェルビーイングな生き方のロールモデル
スペシャルゲスト:Bリーグ理事 中根弓佳さん
ゲスト:ウォーキング講師、飲食店店主、大学生
対象:すべての女性

- 各回の内容

- ・ ゲストによるトークセッション
- ・ 参加者による交流(グループワーク)

- 参加者からの声

- ・ ゲストの話を聞けることができ、自分がしてきたことが肯定されてよかった。
- ・ 自分軸をもつことの大切さを学んだ。
- ・ グループワークを通して共感やヒントを得ることができた
- ・ 自分のことが大好きだけど、実際にキラキラしている女性のお話を聞いて、さらにバージョンアップできた気がする。

- 冊子の作成・配布

- ・ 交流会に参加できなかった女性にもキャリアデザインのヒントにしてもらうために、内容をまとめた冊子を作成し広く配布した。

